

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	トレーナー概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	川村 智広	実務経験とその関連資格	平成17年日本競技連盟トレーナー 平成19年柔道整復師免許取得 平成22年鍼灸師免許取得 平成24年日本相撲協会陸奥部屋トレーナー就任 日本陸上競技連盟A級トレーナー 平成25年柔道整復師専科教員免許取得			
《授業科目における学習内容》						
ATの歴史、役割、現場での活動などについて理解する。ATとして求められる資質を理解し、今後の学習意欲を高める。各教科が現場での活動にどのようにつながるのかイメージしておく。グループディスカッションやプレゼンテーションを通じ、思考力や表現力をトレーニングする(AT客観式試験合格レベル)						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70%(実技試験・筆記試験) 2. レポート:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本アスレティックトレーナーの役割						
《授業外における学習方法》						
指定している教科書を事前に読んでおくこと。 授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)						
《履修に当たっての留意点》						
アスレティックトレーナー客観式試験に本科目は10問出題されます。アスレティックトレーナーの全容を理解する為に本科目に取り組んでください。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックトレーナーとは何かを理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー公認テキスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	A:ATとは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できるようになる	日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー公認テキスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できるようになる	日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー公認テキスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できるようになる	日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー公認テキスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割③ATの活動			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	他の専門スタッフとの連携協力ができるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティックトレーナー公認テキスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
		各コマにおける授業予定	C:医科学スタッフとの連携			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	他の専門スタッフとの連携協力ができるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	C: 医科学スタッフとの連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織の運営及び管理能力を養うことを理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	D: 組織の運営と管理		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的な秩序や倫理規定を理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	E: ATと倫理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的な秩序や倫理規定を理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	E: ATと倫理		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックレーナー養成の歴史的背景や世界の状況を理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	スポーツ現場でのATの立ち回りについて		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスレティックレーナー養成の歴史的背景や世界の状況を理解できるようになる。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	ATを取り巻く社会的背景について		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ現場で求められる対応を身につける(母校実習準備)	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	スポーツ現場での対応について 評価・応急処置		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ現場で求められる対応を身につける(母校実習準備)	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	スポーツ現場での対応について テーピング		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ現場で求められる対応を身につける(母校実習準備)	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	スポーツ現場での対応について ストレッチ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義内容のテーピングの目的を理解し、応用して施す事が出来る。	日本スポーツ協会 アスレティック レーナー公認デ キスト第1巻	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	総復習とまとめ		